

<ニュースリリース>

報道関係各位

2013年11月吉日
一般社団法人 森になる
www.morininaru.net

**環境復元による森林葬と、人・自然・命のつながりの回復を提唱する「森になる」が
12月17日に国際シンポジウムを開催 ～ 世界遺産の「森の墓地」をモデルにして、
宗教や文化の壁を超える新たな価値観を提案する団体が本格的な活動を開始**

■「森になるシンポジウム2013」開催のご案内

「木を植え自ら森となって良好な環境と子孫を守る活動」を推進する一般社団法人「森になる」(東京都千代田区・代表理事：河野秀海)は、来る2013年12月17日(火)に東京で国際シンポジウムを開催いたします。

本シンポジウムでは、「森になる」のビジョンと、スウェーデンの世界文化遺産「森の墓地」視察・研究結果、国際宗教心理学会議2013(スイス・ローザンヌ)における「森になる理念発表」の成果報告等を通じて、宗教や人種の壁を超えた“人間同志と自然と命のつながりを取り戻す”活動や埋葬と葬送のあり方を考えます。

墓地を探している方、自然環境とのかかわりで「終活」をお考えの方や、関係各方面の研究者をはじめ、高齢・成熟社会における新たなビジネスモデルを模索している企業や関連事業者の方など広くご参加をお勧めいたします。

■シンポジウム開催の背景と目的

「森になる」は、高齢化やコミュニティの崩壊による孤独死や若年層の自殺、遺骨放棄や無縁墓の増大、墓地不足などの現代日本の社会的矛盾と、荒廃が進む自然環境に対して、森をキーワードにした“つながり”の回復活動と、新たな葬送によって問題の解決を目指しています。2013年1月に一般社団法人を設立して海外視察や学会発表などを進めてまいりましたが、本シンポジウム開催を契機により具体的な活動を開始いたします。

「森になる」は、遺跡ではなく20世紀につくられた施設ながら、その美しき環境創造と思想によってユネスコの世界文化遺産に認定されているストックホルム郊外の「スクーグスチルコゴーデン(森の墓地)」をモデルとして森の墓地を展開します。森の墓地はできるだけ自然林を復元することを目指し、森の専門家である宮脇昭博士が提唱実践する「潜在自然植生」による植栽法を想定しています。

今後は「土地本来の森」を取り戻す植樹活動と、森林葬施設の具体化に加え、人と人のつながりによる充実した生き方に関する研究と啓蒙活動を進めます。また、これらの活動の前提となる個人会員と事業パートナーの募集も開始いたします。

※添付資料：「森になる」関連事項の解説・補足 もご参照ください。

■「森になるシンポジウム 2013」開催概要

テーマ：自ら樹になり森になることで環境と子孫を守ろう！

開催日時：2013年12月17日（火） 13：30～17：00

会場：いきいきプラザ一番町 カスケードホール

<http://www.ikiikiplaza-eiwa.jp/access.html>

東京都千代田区一番町12

TEL：03-3265-6311

参加費用：3,000円

主催：一般社団法人 森になる

臨席：スウェーデン大使館よりウルフ・セールマルク公使

■プログラム内容

※詳細はホームページを参照

I. 基調講演：「森になる」が目指すもの

河野秀海（森になる 代表理事）

II. 「森になる生き方」とは：国際宗教心理学会議 2013 発表報告より

吉川宗男（ハワイ大学名誉教授）

尾崎真奈美（相模女子大学准教授）

III. 「森になる」をどう実践するか

ゲストスピーチ ウルフ・セールマルク（スウェーデン公使）

世界文化遺産「森の墓地」視察研究報告

IV. パネルディスカッション：学術分野、産業分野のスペシャリストによる討論

■参加申込み方法

「森になる」ホームページの「森になるシンポジウム 2013」ページからお申込みください。参加申込み確認メールをお送りします。参加費は開催当日の受付で現金でお支払いお願いいたします。必要な方には領収書を発行いたします。

「森になる」ホームページ <http://morinaru.net>

■参加申し込みに関する問い合わせ先

森になるシンポジウム 2013 事務局 Email: info@morinaru.net

■報道機関等による本件に対する問い合わせ先

一般社団法人森になる 事業・広報グループ 担当：盛田

TEL. 090-3501-0033 Email: morinaru01@gmail.com

添付資料：「森になる」関連事項の解説・補足

◆世界文化遺産スクーグステルコゴデン（森の墓地）

スウェーデンのストックホルム郊外に 1940 年に完成した優美なランドスケープで自然と一体化した 96ha の「森の墓地」。火葬場 1 か所、葬儀用礼拝堂 5 か所、屋外斎場 1 か所があり、宗派を問わず散骨等で 10 万の死者が眠る。1994 年ユネスコの世界文化遺産に認定された。

（ユネスコホームページ <http://whc.unesco.org/en/list/558> ）

◆死が身近な多死社会

2010 年の日本の年間死亡者数は 119 万 7 千人で、2040 年にはその 1.4 倍の 166 万 9 千人になると推計されている。2010 年には日本のどこかで 26 秒に 1 人お亡くなりになったが、2040 年には 19 秒に 1 人となる。かつてない多死社会を迎え、従来は忌み嫌われて話題にすることも慎まれてきた「死」に対して、より能動的に捉える「終活」が注目を集めている。

◆樹林葬への関心の高まり

終活の一環として相続や延命措置、葬儀に関することに加え、埋葬に関しても自身の希望をかなえようとの機運が高まっている。都市部では深刻な墓地不足である一方、管理されなくなった無縁墓も増大しており、次代の親族に墓地に関する負担をなくすとともに自然や大地との関わりを大切にしたいとの発想の都市生活者の間で樹林葬が注目を集めている。

2012 年に 500 人の募集に対して 8,169 人が応募して 16.3 倍の倍率が大きな話題となった東京都小平市の都営小平霊園の樹林墓地は、2013 年 8 月の募集では募集枠を 1,600 人に増やしたが、前年の約 2 倍の 1 万 5,833 人との応募があり 9.9 倍の倍率となった。

◆樹木葬・樹林葬・森林葬(みどりの埋葬)の違い

明確な定義はないが、樹木葬は特定の 1 本の木の根元に 1 人(あるいは家族)だけの遺骨を埋葬し、樹林葬は木のある一定のエリアに複数人の遺骨を埋葬する形態を表すことが多い。いずれも墓石はないが、石の献花台や名前を刻むプレートが設置されていることが多い。

「森になる」では個人のメモリアル植樹による森の復活と、樹木葬、樹林葬を含めた埋葬を行う「森林葬(みどりの埋葬)」を提案するとともに、幅広い世代の交流が可能な滞在・休養施設等も複合した「美しく楽しい森」の実現を目指す。

◆森林荒廃と環境復元の必要性

日本は国土面積の 66%を森林が占める世界有数の森林大国ながら、その森林の 4 割は杉を中心とした人工林(育成林)である。林業の衰退に伴い人工林に十分な手入れがされず荒廃が進み台風等の被害を受けたり大雨による土砂災害を誘発している。

「森になる」では世界 1,700 か所で 4,000 万本以上の植樹を成功させている横浜国立大学名誉教授の宮脇昭博士が提唱する手入れが不要な潜在自然植生法で、深い根で地盤保持能力が高い広葉樹の植樹を行っていく予定である。博士からは植樹・育樹に関する技術提供の確約を得ている。

◆「森になる」会員について

つながりの回復を学び実践しながら将来的に「森」に埋葬される個人会員と、法人賛助会員として「森」の実現に関わる土地オーナー、不動産事業者、宗教法人や、葬儀・霊園・造園・石材事業者をはじめ、建設・設計・デザイン、医療・介護・福祉、高齢者住宅、保険、金融、ITC 企業、教育機関などを想定している。今年度は登録のみの無料会員とし、規約と特典を整備した来年度から正会員・賛助会員を募集する。地方自治体や公的機関との連携も視野に入れている。

主要登壇者プロフィール

河野秀海

1952年生まれ。1980年、開基430年の生家浄土宗寺院で副住職を務める傍ら、境内の老人ホームで主任生活相談員、施設長代理を兼任。1993年、八ヶ岳に移り「清里樹林気功センター」を設立し「つながりを取り戻すリトリート」主催。1995年、ノーベル平和賞候補ベトナムの僧侶ティク・ナット・ハン氏招聘八ヶ岳リトリート受け入れ総監督を務める。

1999年、整体施術院開業・運営をサポート。プラーナ整体「森の海」を2001年開設。2005年、木を植え自らが森になって、子孫と環境を守る「森になる」を提唱し、2013年1月一般社団法人「森になる」を設立。同法人代表理事。

吉川宗男

Ph. D. 哲学博士。ハワイ大学で35年間教鞭をとり、1997年に退官。現在ハワイ大学名誉教授、IMGS グラジュエイトスクール（日本）学長。ハワイ大学ビジネススクールと日米経営科学研究所（ハワイ）合同 MBA プログラム教授。慶応義塾大学湘南藤沢キャンパス大学院をはじめ、複数の日本の大学でも教鞭をとる。独自のメビウス論を基に教育、経営、健康、環境など広い分野で活躍。大学院の経営に携わる一方、日本企業や多国籍企業向けのリーダーシップ研修、マネジメント研修を積極的に行っている。アルバート・シュバイツァー賞、ハワイ大学最優秀ティーチング賞受賞。

尾崎真奈美

東京大学大学院教育学研究科博士課程出身。ペンシルバニア大学医学部精神科および東京大学医学部公衆衛生学教室客員研究員、米国サーチンスティチュート、スピリチュアリティ発達センター客員研究員を経て、現在、相模女子大学人間心理学科准教授。インテグラル心理学、スピリチュアリティ論、芸術療法などを教えながら研究、ダンス、執筆活動を続け、科学、芸術、宗教、ビジネスの統合を試みる。東日本大震災後の日本人の崇高さに関する実証研究が国際的に注目され、2015年国際応用心理学会議（パリ）より基調講演の招聘を受けている。著書および国際会議での発表多数。

■一般社団法人 森になる 概要

名称 一般社団法人 森になる
所在地 〒102-0082
東京都千代田区一番町 6-4
ライオンズマンション一番町第二 712
mail : info@morininaru.net fax 03-6740-9949
代表者 代表理事 河野秀海
設立 2013年1月31日



主要登壇者

左から 河野秀海 尾崎真奈美 吉川宗男



スクーグスチルコガーデン